

口絵 福島第一原発の状況、施設配置図、構内の空撮写真、
SPEEDIの試算データ、被災した病院の地図、
ワーキンググループ会合のゲストと検証委員会、避難した住民の暮らし

福島原発事故独立検証委員会 北澤宏一 委員長メッセージ
「不幸な事故の背景を明らかにし安全な国を目指す教訓に」……………5

船橋洋一 プログラム・ディレクターからのメッセージ
——「真実、独立、世界」をモットーに……………9

プロローグ 証言——防護服姿の作業員はみな、顔面蒼白だった——……………16

第1部 事故・被害の経緯……………21

第1章 福島第一原子力発電所の被災直後からの対応……………22

- 第1節 福島第一原子力発電所……………22
- 第2節 3月11日の対応……………23
- 第3節 3月12日の対応……………25
- 第4節 3月13日の対応……………28
- 第5節 3月14日の対応……………30
- 第6節 3月15日の対応……………32
- 第7節 3月16日以降の対応……………33
- 第8節 事故後に行われた解析、その他の注目すべき事項……………34

第2章 環境中に放出された放射性物質の影響とその対応……………44

- 第1節 土壌および海水への影響……………45
- 第2節 食品および水への影響と対応……………49
- 第3節 環境修復と廃棄物の処理……………58
- 第4節 低線量被曝……………62

第2部 原発事故への対応……………69

原子力施設の安全規制および法的枠組み……………70

第3章 官邸における原子力災害への対応……………74

- 第1節 福島原発事故への官邸の初動対応……………74
- 第2節 官邸による現場介入の評価……………94
- 第3節 官邸の初動対応の背景と課題……………99
- 第4節 事故からの教訓……………119

第4章 リスクコミュニケーション……………120

- 第1節 原子力災害の影響に対する国民の不安……………120
- 第2節 政府による危機時の情報発信……………121
- 第3節 海外への情報発信……………129
- 第4節 ソーシャルメディアの活用……………132
- 第5節 事故からの教訓……………144

第5章 現地における原子力災害への対応……………146

- 第1節 オフサイトセンターにおける原子力災害への対応……………148
- 第2節 自衛隊・警察・消防における原子力災害への対応……………158
- 第3節 SPEEDI……………171
- 第4節 避難指示……………187
- 第5節 地方自治体における原子力災害への準備と実際の対応……………197

特別寄稿 原発事故の避難体験記
日本原子力産業協会参事 北村俊郎……………211

特別寄稿 原発周辺地域からの医療機関の緊急避難
m3.com編集長 橋本佳子……………220

第6節 現地の被曝医療体制……………238

第3部 歴史的・構造的要因の分析……………245

第6章 原子力安全のための技術的思想……………249

- 第1節 ステークホルダーの責任と役割……………250
- 第2節 原子力安全研究の歴史……………251
- 第3節 設計想定事象(DBE)と、決定論的安全評価……………252
- 第4節 DBEを大幅に超える事故と、確率論的安全評価……………253
- 第5節 深層防護……………254
- 第6節 設計・建設に関する検証……………256
- 第7節 運転管理や保守に関する検討……………259
- 第8節 アクシデント・マネジメントの準備に関する検討……………262

第7章 福島原発事故にかかわる原子力安全規制の課題……………267

- 第1節 原子力安全規制の役割と責任……………267
- 第2節 津波に対する規制上の「備え」と福島原発事故……………268
- 第3節 全交流電源喪失(SBO)に対する
規制上の「備え」と福島原発事故……………276
- 第4節 シビアアクシデントに対する
規制上の「備え」と福島原発事故……………278
- 第5節 複合原子力災害への「備え」と福島原発事故……………286
- 第6節 問題の背景についての考察……………288

第8章 安全規制のガバナンス……………292

- 第1節 概要……………292
- 第2節 原子力行政の多元性……………294
- 第3節 原子力安全・保安院……………303
- 第4節 原子力安全委員会……………309
- 第5節 東京電力……………312
- 第6節 まとめ……………320

第9章 「安全神話」の社会的背景……………323

- 第1節 2つの「原子カムラ」と日本社会……………324
- 第2節 中央の「原子カムラ」……………325
- 第3節 地方の「原子カムラ」……………329
- 第4節 「原子カムラ」の外部……………332

第4部	グローバル・コンテクスト ……………335
第10章	核セキュリティへのインプリケーション ……………337
第1節	日本の核セキュリティ……………338
第2節	福島第一原子力発電所事故と核セキュリティ上の課題……………340
第3節	核セキュリティをめぐる事故後の対応……………344
第11章	原子力安全レジームの中の日本 ……………345
第1節	国際的ピアレビューの発展……………347
第2節	ピアレビューと日本の対応……………348
第3節	地震と津波への備え：IAEAの指針と評価……………352
第4節	国際社会への情報提供のあり方について……………354
第5節	放射線防護のレジーム……………357
第6節	国際レジーム強化・改正をめぐる論議……………359
第7節	事故からの教訓……………360
第12章	原発事故対応をめぐる日米関係 ……………362
第1節	国際協力の概要……………363
第2節	日米調整会合の設立と役割……………364
第3節	ケーススタディ……………373
第4節	国際支援受け入れ態勢をめぐる論点……………378
第5節	日米同盟は機能したのか……………379
最終章	福島第一原発事故の教訓——復元力をめざして ……………381
検証委員会委員メッセージ	
遠藤 哲也委員	福島事故が露呈した原子力発電の諸問題……………398
但木 敬一委員	国は原発事故の責任を自ら認めるべきだ……………399
野中郁次郎委員	現実直視を欠いた政府の危機管理……………400
藤井真理子委員	危機における情報開示に大きな課題……………401
山地 憲治委員	信頼の崩壊で危機を招いた事故対応……………402
福島原発事故検証委員会ワーキンググループ・リスト	……………403
資料	福島第一原子力発電所の不測事態シナリオの素描 (近藤駿介原子力委員長作成のいわゆる「最悪シナリオ」全文)